

たてばやし

第190号

市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



9月
定例会

1周年を迎えたつつじ映像学習館
(入館者1万人達成!!)

平成27年度館林市歳入歳出決算の認定など 16議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～4 ページ
- 決算特別委員会 4～5 ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 5～6 ページ
- 一般質問（8人） 6～10 ページ
- 正副議長就任あいさつ 11 ページ
- 常任委員会の審査報告 12 ページ

本会議のあらまし

平成28年館林市議会第3回定例会は、9月9日から29日までの21日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案を含め14件、報告1件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決、認定されました。その他、委員会提出議案1件、議員提出議案1件、請願2件の審議が行われました。

また、本会議最終日には正副議長の選挙が行われ、議長に多田善洋議員が、副議長に泉澤信哉議員がそれぞれ当選されたほか、群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員及び群馬東部水道企業団議会議員の選挙が行われました。

人事案件

▽固定資産評価審査委員会委員の選任についてⅡ固定資産評価審査委員会委員の丸山秀三さん（仲町）の任期が、本年9月15日をもって満了となることから、後任に石原英樹さん（緑町一丁目）を選任したいとして、地方税法の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽教育委員会委員の任命についてⅡ教育委員会委員の大石和彦さん（本町二丁目）の任期が、本年9月30日をもって満了となることから、引き続き任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

後任に金子千秋さん（足次町）を任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽監査委員の選任についてⅡ議会の議員から選任される監査委員である遠藤重吉議員が、本年9月28日をもって辞任したことに伴い、後任に岡村一男議員を選任したいとして、地方自治法の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

条例の改正

▽館林市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例Ⅱ国で定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」及び「建築基準法施行令」の一部改正に伴い、小規模保育事業A型及び事業所内保育事業において、保育業務について当分の間、一定の範囲において、幼稚園教諭や小学校教諭等の資格のある者が保育士に代わり従事できるようにするとともに、これらの者に加え、子育て支援研修を修了した者であって保育士と同等の知識経験を有すると認められる者が保育士に代わり従事できるようになり、また、避難用の屋内階段の階段室と連絡する付室の構造基準が整備されたため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。



その他の議案

▽館林市立学校給食センター整備運営事業に係る事業契約の締結についてⅡ学校給食調理環境の改善を図り、より安全で安心な学校給食を提供するため、館林市立学校給食センター整備運営事業に係る事業契約を締結しようとするものです。契約の相手方は、総合評価落札方式による条件付き一般競争入札により、総合評価の高い東洋食品グループが落札し、落札者が本事業を実施するために設立した特別目的会社である(株)館林学校給食サービスと契約金額67億1950万8080円で、平成45年8月27日までの15年間の契約を締結するに当たり、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定により、議会の議決を求められたもので、賛成多数で可決されました。

▽市道2級35号線ほか7路線の路線廃止についてⅡ館林市広域防災拠点整備事業に伴い、不用となる路線及び起終点の変更となる路線を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽市道2級35号線ほか2路線の路線認定についてⅡ館林市広域防災拠点整備事業に伴い、起終点の変更となる路線を認定しようとするもので、全員一致で可決されました。

補正予算

▽平成28年度館林市一般会計補正予算(第2号) Ⅱ1億141万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ281億9835万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成28年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第1号) Ⅱ2716万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ18億3824万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成28年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) Ⅱ5378万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億5320万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償の額の決定について) Ⅱ本年8月1日に館林

報告

市立第一中学校敷地内で発生した倒木による車両の物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について、被害車両2台を緊急に修理する必要があることから専決処分したもので、全員一致で承認されました。

▽平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について Ⅱ「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は4・2%、将来負担比率は91・6%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての健全化判断比率及び公営企業会計

平成27年度決算

における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となっていたとの報告がありました。

▽平成27年度館林市歳入歳出決算の認定について Ⅱ一般会計決算の概要は、最終予算額283億4456万2265円に対し、歳入決算額は291億7702万5782円で、予算に対する収入率は102・94%です。また、歳出決算額は269億6520万2664円で、その執行率は95・13%となり、歳入歳出差引残高は22億1182万3118円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源10000円を差し引いた実質収支額は、22億1182万2118円となり、このうち16億円を財政調整基金に、5000万円を職員退職手当基金に積み立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む5億6182万3118円を翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入100億9981万4469円、歳出99億9015万4500円。下水道事業特別会計が、歳入18億7899万9337円、歳出17億6047万8122円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5141万7371円、歳出4628万3500円。介護保険特別会計が、歳入57億4450万7493円、歳出55億3990万3334円。後期高齢者医療特別会計が、歳入8億1730万6603円、歳出7億5773万3766円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

本決算について、日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

▽平成27年度館林市水道事業会計決算の認定について Ⅱ収益的収支では、事業収益18億4264万8520円、事業費用16億470万5096円で、この結果、

消費税抜きの純利益1億8976万3035円が計上されたほか、資本的収支では、収入総額3億9808万6200円に対し、総支出額11億9993万2117円で、不足する額8億184万5917円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てんされるもので、採決の結果、全員一致で認定されました。

今回の決算は、本市の水道事業が群馬東部水道企業団へ移行したことによる、打ち切り決算です。

群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙結果

群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、多田善洋議員が当選されました。

群馬東部水道企業団議会議員の選挙結果

群馬東部水道企業団議会議員の選挙が行われ、橋本徹議員、多田善洋議員が当選されました。



委員会提出議案

▷特定教育・保育施設における職員の配置基準及び処遇の改善と財源確保を求める意見書（全員一致で可決）

【全文】平成 27 年度から「子ども・子育て支援新制度」が施行された。少子化が進む現在においても保育園の待機児童問題の解消のための対策が急務となっているが、平成 29 年 4 月に予定されていた消費税の引き上げが再延期となったことで、子育て支援に係る施策の財源が不透明となっている。

すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の充実に図るとする法の趣旨を踏まえ、子ども・子育て支援の施策を推進、充実、保育ニーズの拡大に対応するためにも、保育士等の処遇、職員配置の抜本的な改善を早急に実施するとともに、そのために必要な財源を恒久安定的に確保することが必要である。

よって、国におかれては、特定教育・保育施設における職員の配置基準及び処遇の改善に緊急の対応を講じられるよう、以下について要望する。

- 1 保育士不足を解消し、保育の質を確保・向上させるために、保育士等の配置基準、処遇を抜本的に改善すること。
- 2 必要な予算を確保し、保育施設の開所日数、開所時間に見合う単価設定など、実態を踏まえた公定価格に改善すること。
- 3 保育園、幼稚園、認定こども園など、施設によって基準が異なるが、すべての子どもが安心・安全に成長・発達する権利を等しく保障されるよう、特定教育・保育施設の職員配置基準や運営基準を改善し、格差のない環境づくりをすること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

提出先＝内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）、衆議院議長、参議院議長

議員提出議案

▷館林市議会委員会条例の一部を改正する条例＝行政組織機構の改革に伴い、総務文教常任委員会の委員定数を 1 人増員して 7 人に、経済建設常任委員会の委員定数を 1 人減じて 6 人とするため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

請願の審議結果

▷保育士等の処遇改善と職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める請願書＝上記の委員会提出議案が可決されたことにより、みなす採択となりました。

▷特定教育・保育施設における職員の配置基準及び処遇の改善と財源確保を求める請願書＝上記の委員会提出議案が可決されたことにより、みなす採択となりました。

決算特別委員会

9 月 12 日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、20 日、21 日、23 日の 3 日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第 59 号平成 27 年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数により、議案第 60 号平成 27 年度館林市水道事業会計決算の認定については全員一致をもって、それぞれ原案のとおり認定すべきものと議決されました。

総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展を背景として、社会保障関係経費が大きく増加していく一方、労働者人口の減少などにより、依然として厳しい状況が続いており、地方自治体には、自主性・自立性をより高めた行財政運営を行うことが強く求められている。

このような状況の中、本市においては、「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」を将来のまちの姿とする第五次総合計画前期基本計画の最終年度として、財

主な新規事業

政の健全性に留意しつつ、定住人口の確保に係る事業や、少子化対策に係る事業、経済の活性化に係る事業を重点項目に掲げ、市民生活の向上に取り組みとともに、「安心して生活ができるまちづくり」を実現するため様々な施策を実施した。

○まちひとしごと創生推進事業

まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定した。

○看護師設置事業

障がい等により医療行為を必要とする児童が、安心して学校生活を送れるよう、

市内の小学校に看護師を配置した。

○小学校施設整備事業

第一小学校・第三小学校・第七小学校校舎内吊り天井、第四小学校・美園小学校食堂吊り天井、第六小学校トイレ改修工事及び第五小学校トイレ改修工事設計を実施した。

○中学校施設整備事業

第二中学校校舎内吊り天井、第三中学校・多々良中学校柔剣道場吊り天井、第四中学校柔剣道場の改修工事及び第三中学校トイレ改修工事設計のほか、第一中学校卓球場解体工事を実施した。

○幼稚園施設整備事業

北幼稚園・南幼稚園・東幼稚園・杉並幼稚園・西幼稚園内トイレ改修工事設計を実施した。

○文化会館運営事業

文化会館大ホール棟の耐震等改修工事に着手した。

主な継続事業

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で利用できる金

券で交付したほか、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用してプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

○**幹線排水路整備事業**
準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事60・8mを実施した。

○**西部一号線道路改良事業**
平成22年度から7か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は県事業負担金として、東武鉄道(株)への委託工事及び県発注工事等の費用を負担した。

○**東部環状線改良事業**
(市道3066号線)
平成21年度から9か年継続事業として整備を進めているが、本年度は道路改良工事1760m等を実施した。

○**土地区画整理事業**
・**西部第一南地区**
昭和61年度から33か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号

平成27年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位：円)

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引残額
会計別				
一般会計		29,177,025,782	26,965,202,664	2,211,823,118
特別会計	国民健康保険	10,099,814,469	9,990,150,450	109,664,019
	下水道事業	1,878,999,337	1,760,478,122	118,521,215
	農業集落排水事業	51,417,371	46,283,500	5,133,871
	介護保険	5,744,507,493	5,539,903,334	204,604,159
	後期高齢者医療	817,306,603	757,733,766	59,572,837
水道	収益的収支 (経常的経営)	1,842,648,520	1,604,705,096	237,943,424
	資本的収支 (建設改良事業)	398,086,200	1,199,932,117	△ 801,845,917

※ 資本的収支の収支差引不足額 801,845,917 円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てん。
なお、この決算額には消費税が含まれています。

線舗装工事を199・4m、4戸7棟の建物移転等を実施した。

・**西部第一中地区**
平成元年度から35か年継続事業として整備を進めているが、本年度は駅西通り線歩道舗装工事を87m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

・**西部第二地区**
平成11年度から26か年継続事業として整備を進めていた。

○**公共下水道整備事業**
昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1625・5m、雨水きよ156・7mの布設、処理場整備として、施設工事委託を実施した。

いるが、本年度は学校通り線外6路線改良工事を373・8m、5戸11棟の建物移転等を実施した。

議員個人の賛否結果一覧表

【○：賛成 ●：反対】

議席番号 議員名 議案等名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
		権田昌弘	櫻井正廣	橋本徹	斉藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	多田善洋	泉澤信哉	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	高橋次郎	井野口勝則	小林信	町井猛	
議案第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償の額の決定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	館林市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	原案可決
議案第56号	館林市立学校給食センター整備運営事業に係る事業契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	原案可決
議案第57号	市道2級35号線ほか7路線の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決

議席番号 議員名 議案等名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
	権田昌弘	櫻井正廣	橋本徹	斉藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	多田善洋	泉澤信哉	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	高橋次郎	井野口勝則	小林信	町井猛	
議案第58号 市道2級35号線ほか2路線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第59号 平成27年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	原案可決
議案第60号 平成27年度館林市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第61号 平成28年度館林市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第62号 平成28年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第63号 平成28年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
委員会提出議案第2号 特定教育・保育施設における職員の配置基準及び処遇の改善と財源確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号 館林市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
※議長選挙が行われ、新議長に多田善洋議員が就任いたしました。																					
議案第64号 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※向井 誠議長及び多田善洋議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

市政を問う !!

9 月 14 日

9 月 13 日

- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|---|
| <p>○小川 信議員 (10ページ)</p> <p>○自転車レーンの整備と歩行者・車いす等の安全対策について</p> <p>○公園(街区公園)における樹木の整備と管理について</p> | <p>○河野哲雄議員 (10ページ)</p> <p>○本市の防災・減災対策について</p> | <p>○吉野高史議員 (9ページ)</p> <p>○命の重さと行政責任について</p> | <p>○篠木正明議員 (9ページ)</p> <p>○板倉町との合併とまちづくりについて</p> | <p>○青木幸雄議員 (8ページ)</p> <p>○都市整備事業について</p> <p>○農村地域基盤整備事業について</p> | <p>○斉藤貢一議員 (8ページ)</p> <p>○館林市介護福祉計画について</p> | <p>○権田昌弘議員 (7ページ)</p> <p>○本市の若い世代の考え方等への対応について</p> | <p>○櫻井正廣議員 (7ページ)</p> <p>○群馬県手話言語条例に伴う本市の取り組みについて</p> <p>○放課後学習教育の取り組みについて</p> <p>○クラウドファンディングの導入について</p> |
|---|---|---|---|---|---|--|---|

質一般

今定例会における一般質問は、9月13日・14日の2日間にわたり行われ、8人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

内容は広範にわたっておりありますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)



市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は、会議録をご覧ください。

館林市議会



<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

手話言語条例・放課後学習・クラウドファンディングの推進について

櫻井 正廣 議員

質問 群馬県手話言語条例の施行を参考に、本市の取り組みについて伺います。

答 関係者の意見を十分に聴きながら、特色ある条例を制定していく必要があると考えております。

質問 遠隔手話通訳サービスの導入について伺います。

通訳者設置事業の補完的な役割を担うサービスとして、県や他の自治体の取り組みを参考にICTの活用について研究してまいります。

質問 手話の環境整備は、条例の設置に限らず執行できます。聴覚障害者団体と今後の展望について向き合い、特色ある条例の施行を

望みたいが、考えを伺います。

答 地域の特性を生かした条文や制定後の継続的な運用ができる手話言語条例について、平成29年度を目途に施行したいと思っております。

質問 学力向上や放課後の有意義な居場所を作る放課後学習教室の実施に向けての現状について伺います。

答 現在、シルバー人材センター主催による「おさらい教室」が市内5会場で行われており、教育委員会では社会福祉課と連携して

これらの事業に相乗りする形で検討しております。

質問 帰宅後、他の場所に移動するのではなく、通学している学校にて行う放課後学習教室の積極的な推進について伺います。

答 各学校区や公民館と連携して、放課後学習教室がより充実するように取り組んでまいります。

要望 地域の方々と学校区が協力して、子どもたちの教育・学力向上という共通目的を行う。そこに集う生

徒に「貧困」という言葉は存在しません。誰もが参加できる放課後学習教室の実施を望みます。

質問 市民の期待が大きく、本市の象徴ともなる歴史的建造物・館林城三重櫓の復元を可能とするため、新たな資金調達の方法であるクラウドファンディングの導入について伺います。

答 市の重要な事業を推進する手法の一つとして、メリット・デメリットを精査し研究してまいります。

本市の若い世代の考え方等への対応について

権田 昌弘 議員

質問 オリンピックの東京開催についてどう考えるか。

答 身近なオリンピックは、私たちにとって素晴らしいものと思っています。

質問 キャンプ地に関してはどうのようになっているか。

答 全国知事会が運営するデータベースサイトに城沼総合運動場の既存施設の

情報を掲載しております。

質問 観戦に向けた設備の整備に関して、今後どのように進めていくのか。

答 若い方たちを初めてのご意見を参考にしながら、取り組んでまいります。

質問 照明のLED化や空調設備の整備についてどの

ようにお考えなのか。

答 各施設の照明使用の現状や維持管理費の見込みなどの調査を行いながら、設置に向けた検討や仮設などを含めた設備の整備を検討してまいります。

質問 障がいを持った子どもたちや高齢者の方の観戦をどう考えているのか。

答 トイレの洋式化や段差解消など、常に障がい者や高齢者の目線に立った設備の充実に心がけてまいります。

質問 若い人たちが中心と

なつて本市の観光についての取り組みをしているが、

それらをどう評価するのか。

答 若い人たちの意見や活動を取り入れることはとても必要であり、新しい価値観を生み出す大切なものであると認識しております。

質問 Wi-Fiの整備やSNSの活用などの考えは。

答 Wi-Fi搭載の自動販売機の活用など、スポットを増やせるよう研究します。

質問 トイレ内の環境もよくする必要があると思うが。

答 段階的に洋式化を進めてまいります。

質問 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられましたが、本市の対応はどうなのか。

答 市内の高校と連携し、期日前投票事務の見学と選挙制度の講話を行いました。

質問 投票率の向上や若い人たちに積極的になつてもらうため、どう対応するのか。

答 インターネットを活用した情報提供や若者の考えが実現した事例を集め、啓発に役立ててまいります。

高齢福祉(主に介護保険事業)

について問う

斉藤 貢一 議員

質問 当市における後期高齢者数の現状及び平成37年の推計、並びに特別養護老人ホームにおける入所待機者数をお伺いします。

答 後期高齢者は、平成27年が9239人で、構成比が12%、平成37年には1万2577人で、構成比が17・6%になると推計され

ます。特養の入居待機者は、240人前後で推移し、緊急度の高い方が64人、在宅で入所の必要性の高い方が30人となっております。

質問 後期高齢者人口が増加すれば、要支援・要介護認定者が増えるのは当然で、平成37年には4523人となり、現状と比べ約1200

人増加すると予想されています。また、特養は制度改正により、要介護3以上の方が対象となり、所得による段階別入居費も設定しております。このように低所得者を対象とした料金設定をしている施設にはケアハウス等があり、要介護度が比較的軽い方の受け皿として期待されていますが、この施設サービスの計画についてや、居住費等の負担の軽減を受けている低所得者の割合をお伺いします。

答 市内には定員30人のケアハウスが3か所あります。県内のケアハウスの整備状況は、近県で最も多いことから、現状の定員を維持しながら、地域の実情に応じた弾力的な対応を行っております。また、入居者に占める低所得者の割合は約65%と考えております。

た上での、施設サービスと居宅サービス両方の充実が求められます。ただ下流老人の言葉に代表されるように、高齢者の間にも格差が広がってきているのも事実です。認知症患者のグループホームやサービス付高齢者住宅等で過ごせる人もいれば、短期入所の繰り返しや家族のご苦労により在宅で頑張っている人もいます。尊厳ある老後を迎えていただくためにも、特養施設の充実をお願いします。

多々良駅周辺他の区画整理事業、大島地区ほ場整備について

青木 幸雄 議員

質問 隣町の区画整理が多々良駅から100mのところまで進んでいます。この事業の着手に当たって、隣町から本市に対し事前に歩調を合わせるような協議はあったのか。

答 邑楽町施行の鶏土地区画整理事業に伴い、行政の境界の確認などの協議は

実施されております。今後、隣接する四町との連携は一層重要度を増していきまので、行政の境界付近で開発がある場合には、関連自治体で協議を行い、足並みがそろえられるよう連携を図ってまいります。

質問 中途半端な状況になっている都市整備事業につ

いて、特に館林駅西口整備や、茂林寺前駅西口、成島駅・多々良駅周辺の整備など、ある観光客からは「館林市は時間がとまってい」る」との声もあるが、いつごろまでに完了するのか。

答 館林駅西口整備は、平成24年度から広場内の工事を施工し、現在半分程度の整備が完了しております。茂林寺前駅西側区域市道整備事業は、鉄道事業者や関係機関と協議を行い、事業の進捗に努めております。

成島駅周辺の道路整備は、平成24年度より工事に着手し、平成30年度の事業完了を目指しており、多々良駅周辺の道路整備は、平成23年度で完了しております。

質問 一向に進んでいない大島地区の農村地域基盤整備事業の現状は。

答 現在、地権者の同意率も96%となり、事業主体となる県との協議を進めるとともに、国への事業申請に向けて取り組んでおります。

質問 大島地区の地元負担

についてはどうなるのか。

答 事業計画において、担い手への農地集積を最大限行い、地権者の負担軽減に努めてまいります。

質問 今後のほ場整備の目指すあり方と方向性についてはどうなりますか。

答 現在進めている大島地区のほ場整備を着実かつ迅速に整備することにより、次世代に大切なほ場を引き継いでいけるよう全力で取り組んでまいりたいと考えております。

板倉町との合併と

まちづくりについて

篠木 正明 議員

質問 市町村合併は目的でなく、まちづくりの手段です。館林市と板倉町がお互いに発展していくためにはどうしていくべきか、そのために合併が最善の方法なのかの議論が重要だと思えます。合併協議会で、この議論がされていませんが、どう考えていますか。

答 合併協議会は合併ありきを前提としたものでなく、合併をした場合にどのような自治体にしていくのか、税金や住民サービスをどのようにしていくのかを協議する場だと認識しています。今後、もっと核心に触れた内容の協議が進んでいくものと思っています。

命の重さと行政責任について

吉野 高史 議員

質問 学校施設や公共施設における耐震化対策、アスベストの取り扱い等により命にかかわる危険性、いじめによる自殺や殺人事件による命の大切さについて、以前の教育長答弁にも、そのたびごとに、早急に行政一丸となって真摯に取り組む、早期の解決につなげた

いとありました。また、特に命にかかわる問題には、そうしたことを基本に徹底した情報公開に努めたいと答弁したにもかかわらず、今回の市内中学校での部活動中の事故について、1か月半以上もたってからの情報公開となったが、こうして公表が遅れた原因はど

質問 両市町の今後のあり方などを初めに協議すべきなのに、それが後回しになっていると思います。

次に、合併協議を進めるに当たって、市民の意見をどのように反映させるのか、お尋ねします。

答 協議会開催のたびに「協議会だより」を每户配布します。ホームページで会議の結果だけでなく、会議の資料や会議録も掲載し、メールで意見、問い合わせも受け付けます。また、住民説

こにどういう責任があるのでしょうか。

時間の経過とともに刻々と状況も変化しているわけであり、状況の変化を敏感に察知し、その変化に応じて情報を開示していくことは当然であり、情報公開の時期を逸したと言わざるを得ないと考えております。

こうした状況を教育委員会とはつかんで、どうして命にかかわる情報公開が遅れたのか。過去の答弁と余りに違いすぎるその答弁の責

明会を開催し、必要な修正を行いたいと考えています。

質問 市町村合併は自治体の形を変える大きなことですから、合併するかどうかは住民投票を行って決めるべきだと思いますが、そのような考えはないのですか。

答 合併の協議が進む中で、必要に応じて合併協議会での判断に委ねていきたいと考えています。

質問 合併協議会で、どういうまちを目指すのかを議論すべきですが、そうなっ

任をどのように説明するのか、お伺いします。

答 今回の件で多くの皆様に多大なご心配をおかけし、大変申し訳なく思っています。また、子どもたちの命や健康にかかわることは、すぐに公表できる体制を整えていきたいと答弁しましたが、今回の重大な事故が起きたことに伴い、本来であれば議員のご指摘のとおり速やかに情報を公開する必要があったかもしれませんが、しかし、本件にお

ていない現状があります。市長は、将来のまちづくりと板倉町との合併についてどのように考えていますか。

答 少子高齢化に伴う人口減少が急速に進む中で、いわゆる地方創生が求められています。館林市と板倉町が持つ特性や地域資源を引き出し合い、合併のスケールメリットを最大限に生かしながら、市民生活の向上や地域経済の発展など、新たなまちづくりを進めていきたいと考えています。

いては、まずけがをした生徒の病状をしっかり見守りたいと思っておりましたが、2週間ほどたっても余り回復の兆しが見られなかったため、6月16日の総務文教常任委員会で報告いたしました。また、関係者の心情等にも配慮して公表を控えておりましたが、結果的に公表するタイミングが遅れてしまい、過去の議員の一般質問における答弁内容との整合性という点で申し訳なく思っています。

本市の防災・減災対策について問う

河野 哲雄 議員

質問 本市では、ハザードマップの見直しが図られています。市民の防災意識を高めるためにも、市民防災マニュアルの作成が必要と考えますが、当局の考えをお聞きます。

答 国からの新たな浸水想定公表を受けた後、現在の洪水ハザードマップの

見直しを図り、市民の主体的な避難に役立つようなハザードマップの作成を考えております。各家庭で保管しやすい冊子型とし、防災に関する基礎知識も盛り込んだわかりやすい防災マニュアルを作成し、全世帯に配布できるよう検討してまいりたいと考えております。

質問 本市の避難所における非常用電源の設置状況についてお聞きます。

答 避難所となる小学校は、照明やその他の機器の電源確保のために、持ち運びが可能な発電機を備蓄しております。中学校や公民館につきましては、非常用電源の確保を検討してまいりたいと考えております。

質問 トイレなどの確保のため、まだ非常用電源が設置されていない指定避難所には早急に設置する必要があります。

答 トイレなどの確保のため、まだ非常用電源が設置されていない指定避難所には早急に設置する必要があります。

あると思いますが、当局の考えをお聞きます。

答 避難所におけるトイレ浄化槽などの電源確保は、避難者の健康面や衛生面の観点から重要と考えております。現在、防災倉庫に備蓄されている非常用発電機のほか、簡易的な太陽光発電機の購入などを検討してまいりたいと考えております。

自転車、歩行者等の安全対策と

公園樹木の整備について

小林 信 議員

質問 自転車レーン・歩道の現状は、自転車は車両と位置付けられ、車道等を走行することになっています。自転車の安全対策として、各地で自転車レーンの整備が進められているが、本市の現状はどうか。

答 自転車レーンの整備は努力義務で、道路空間の制約などから、計画の策定まで至っていません。市道の延長が890・2kmで、市道における歩道の延長は56・7kmでございます。

自転車レーン・歩道の現状は、歩道の現状について伺います。

答 自転車レーンの整備は努力義務で、道路空間の制約などから、計画の策定まで至っていません。市道の延長が890・2kmで、市道における歩道の延長は56・7kmでございます。

地方からの要望は

質問 市内の歩道は、歩行者がほとんどいないが、法律では全国一律で規制されています。地方都市などの歩行者の少ない歩道を自転車道などに活用できるように、要望することはできないのか。

答 歩道のない道路で、車椅子等が通行するには路側帯が傾斜していて大変危険なため整備が必要ではないか。

答 内部で検討していませんが、地方の歩道の実態

質問 上部機関へ説明や要望を

良好な公園づくりを

答 街区公園が設置されてから大分年数がたっており、樹木の成長に伴い植栽密度が過密と感じられる公園もあります。

質問 地域にある小さな公園に10メートルを超える高木が植栽されていますが、剪定するには相当な経費がかかります。落ち葉の問題や枯れ枝の落下の危険もあります。今後の地域公園のあり方についての考えを聞

委員会の構成が変わりました !!

常任委員会委員
合併調査特別委員会委員
議会運営委員会委員
議会報編集委員会委員

9月定例会最終日をもって任期満了となりました各常任委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会、並びに合併調査特別委員会の委員の選出が行われ、次のとおりの構成となりました。

(◎委員長、○副委員長)

常任委員会委員

【総務文教】

◎斉藤 貢一 ○櫻井 正廣
泉澤 信哉 青木 幸雄 野村 晴三
河野 哲雄 小林 信

【市民福祉】

◎渡辺 充徳 ○青木 一夫
多田 善洋 吉野 高史 遠藤 重吉
高橋 次郎 町井 猛

【経済建設】

◎橋本 徹 ○榎田 昌弘
篠木 正明 岡村 一男 向井 誠
井野口勝則

合併調査特別委員会委員

◎高橋 次郎 ○河野 哲雄
榎田 昌弘 渡辺 充徳 篠木 正明
吉野 高史 遠藤 重吉 野村 晴三
向井 誠 井野口勝則

議会運営委員会委員

◎向井 誠 ○榎田 昌弘
櫻井 正廣 渡辺 充徳 篠木 正明
吉野 高史 遠藤 重吉 井野口勝則

議会報編集委員会委員

◎青木 一夫 ○斉藤 貢一
榎田 昌弘 青木 幸雄 河野 哲雄
向井 誠 小林 信 町井 猛



泉澤 信哉 副議長



多田 善洋 議長

正副議長就任あいさつ



市民の皆様におかれましては、日頃より市政並びに議会活動に対しましてご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、地方自治体には、自己決定と自己責任のもと、効率的で質の高いサービスの提供が強く求められており、二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても、議決機関としての役割と責任がこれまで以上に増しているところでございます。

私たちは、先の9月定例会議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感している次第

め、の諸施策の推進など、市民福祉の向上が図られますよう、行政のチェック機能としての機能を果たすとともに、円滑で開かれた議会運営に努めてまいります。

もとより浅学非才の私どもではありますが、市民の皆様の声に対しまして真摯に耳を傾け、市政に反映すべく全力で取り組んでまい

る所存でございますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

いさつといたします。

市議会会派構成

緑水クラブ

◎高橋 次郎

○榎田 昌弘

櫻井 正廣

橋本 徹

青木 一夫

多田 善洋

泉澤 信哉

岡村 一男

遠藤 重吉

野村 晴三

自由クラブ

○井野口 勝則

町井 猛

公明党

○向井 誠

河野 哲雄

日本共産党館林市議団

○小林 信

篠木 正明

フォーラム館林

○渡辺 充徳

斉藤 貢一

彩生クラブ

○青木 幸雄

吉野 高史

(○代表者)

常任委員会の審査報告

総務文教

館林市立学校給食センター整備運営事業に係る事業契約の締結についての議案1件が付託され、採決の結果は、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

議案1件と請願2件が付託され、議案については、館林市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例で、採決の結果は、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、継続審査となっていた保育士等の処遇改善と職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める請願書及び今回付託された特定教育・保育施設における職員の配置基準及び処遇の改善と財源確保を求める

る請願書については、それぞれ全員一致で採択され、かつ同一の趣旨であることから、一つの委員会提出議案としてまとめられ、今定例会に提出することになりました。

経済建設

館林市広域防災拠点整備事業に伴う、市道2級35号線ほか7路線の路線廃止について及び市道2級35号線ほか2路線の路線認定についての議案2件が付託され、審査対象となった道路の現地調査を行った後に審査に入り、2議案とも、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。



市道の路線認定の現地調査

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



本会議・常任委員会・特別委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。

傍聴手続きは、議会棟の3階または4階に備え付けの用紙に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合は予め議会事務局までご連絡ください。

また、手話通訳者をご希望される団体等につきましては、議会事務局までご相談ください。

【12月定例会の予定】

- 12月 2日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
 5日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
 6日(火)・7日(水) 本会議＝一般質問
 8日(木)・9日(金) 委員会＝常任委員会
 15日(木) 本会議＝表決



手話通訳者を入れての議会風景

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、11月30日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒市議会をクリックしてお入りください。)